



新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙字大日裏

☎ 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

鍋と一緒に、心も磨く

所長 名古 善晃

私は、出会いのつどいで利用者の皆さんに、2つのことをお願いしています。それは、「事故なく、怪我なく、病気なく」と「自分と同じように施設も大切にしてほしい」ということです。

「この施設は、46年目を迎えています。皆さんのお父さんやお母さんも、きっと使ったことがあると思います。と言うことは、皆さんの子どもやお孫さんも使うかもしれません。その時に気持ちよく過ごせるように、リニューアルしたこのきれいな施設を、きれいなままで残していきましょう」と、お願いしています。

その具体的な一つ例が「鍋磨き」です。過去の所報には、このような記事があります。

昨年度までは団体さんをお願いしていた後片付けを、今年度は、当所の職員が立ち会い、点検させていただくことになりました。かなり厳しいチェックという御意見もいただきましたが、次に使用される団体からは「とてもきれいで使いやすかった」という感想を多くいただいています。『来たときよりも美しく』が青少年教育施設の合言葉になっていますが、後片付けにこそ、しっかりとしたねらいを設けて取り組ませることが大切ではないでしょうか。

(所報あかまつ 57号 齊川豊所長の巻頭言 平成22年9月)

日常生活ではほとんど経験しない鍋磨きをとおして、物を大切にする気持ちや勤労の大切さ、他者を思いやる気持ちや公共の精神など、心を磨く機会となることを願っています。



〈 炊さん場の見事な赤松 〉



〈 自然・ふれあい！家族のつどい 〉



〈 職員作業での鍋洗い 〉

令和元年度 上半期主催事業の様子

<施設見学会>

4月にリニューアルオープンした少年自然の家を広くアピールするために、4月に3回、施設見学会を行いました。施設見学だけでなく、クラフト制作（松ぼっくりデコ）、体育館での活動（グラウンド・ゴルフ、スラックライン）も行いました。3日間で総勢778名の皆様が来所しました。



<利用団体引率指導者研修会>

6月から9月までの利用団体引率者を対象にした研修会を計4回行いました。この研修会の主な目的は『①当日の活動がスムーズに行えるようにすること ②事前指導が効果的に行えるようにすること ③利用日における団体間の活動時間や場所等を調整すること』です。

☆【参加者の声】☆

「1日で全ての内容を見せていただき、当日一緒に活動する先生方と顔合わせができてよかったです。新しい施設もとても良かったです。」
 「ある程度事前に場所を決めておいていただき、調整内容を示していただきスムーズにできた。当日の活動に見通しがもてました。」



<はつらつ体験塾>

不登校・不登校傾向にある児童生徒の自立を支援するために実施しているキャンプ。スマイルキャンプ、フレンドリーキャンプ、チャレンジキャンプの3回シリーズ3回と、日帰りキャンプを2回、計11回で構成されています。大学生のボランティアや看護師と一緒に、県下三会場（胎内、五頭、妙高）でこれまで8回行いました。マイフォーク作り、クッキング、キャンプファイア、馬との触れ合い体験、ジャガイモ掘り、カヌー、ストーンアート、沢登り、源流体験、そば打ち、ハイキング等を体験しました。

☆【参加者の声】☆

「みんなで分担してがんばって調理をしたり、分からないところは他の班に聞いたりして協力できた。また、別な調理をやってみたい。」
 「ストーンアートで石の特徴を見て、どんな絵にしようか考えるのが楽しかった。」



<ハートフルドリームキャンプ>



一人親家庭を対象としたキャンプ。4月と9月に開催。4月は、クラフト制作、乙宝寺見学、いちご狩り、9月は、胎内自然天文館見学、キャンドルファイア、ハウスゲーム、キーホルダー作り等を行いました。

☆【参加者の声】☆

「親と子どもと一緒に楽しくなれて楽しむことができ、とても良かった。」
 「子どもたちが協力して野外ゲームに取り組んでいてとても良かった。」
 「キャンドルの光がとても綺麗で素敵でした。レクリエーションも楽しかったし、他の家族と交流ができてとても楽しかった。」

<自然の家ボランティア研修>

6月9日(土) 施設利用当日の支援に役立ててもらおうと、学校支援ボランティアとして活躍されている方や自然体験教室の引率者を対象にした研修会を行いました。児童と同じようにアウトドアクッキングやカヌーを体験しました。

☆【参加者の声】☆

「子どもと同じ体験ができて子どもがつまずきそうな所が分かって良かったです。」
 「自然の家ならではの指導方法や技術があり、新たに知ることもありました。」



<チャレンジわんぱく>

小学校4・5・6年生を対象に、1泊2日で年3回(7月・10月・1月)行います。自然体験や共同生活を通して、豊かな心とたくましい身体を育てることをねらいとしています。これまで、カヌー、アウトドアクッキング、キャンプファイア、登山等を行いました。

☆【参加者の声】☆

「宿舎が新しくなってドキドキしながら活動した。去年よりカヌーやキャンプファイアなどを楽しく活動できた。」
 「友達ができて楽しかったです。アウトドアクッキングも協力してカレーうどんができて楽しかったです。」
 「登山は少し険しいところもあったが、楽しく登れた。体育館でやったスキヤキゲームが楽しかったです。」



<家族でカヌーに親しもう>

8月9日(金)10日(土) 県内各地から参加した親子が、胎内川でカヌーを楽しみ、親子の絆を深めました。

☆【参加者の声】☆

「最初はむずかしかったけれど、困ったときに職員の方が優しく教えてくれたので、楽しくカヌーをこげました。」
 「家族で同じ体験をして、とても楽しい思い出深い1日となりました。また、参加したいと思いました。」



<国際交流キャンプ>



8月19日(月)、20(火)に新規事業として国際交流キャンプを行いました。日本で勉学に励んでいる韓国やベトナムの留学生たちと県内の中高生たちが交流しました。初日は村上市内への歴史巡りと交歓会、2日目はレクリエーションを行い、国際社会に向けた視野を広げ、相互の異文化理解と交流を図りました。

☆【参加者の声】☆

「韓国やベトナムの留学生と交流したのは初めてだったので、新たな発見が多くあった。韓国やベトナムを今までよりも身近に感じることができるようになった。」
 「ベトナムの文化は触れる機会がなかったので、とても興味深く参考になりました。」

<一緒に泊まりキャンプ in たいない>

自然体験活動や異年齢集団の生活体験活動の楽しさを味わわせること、親子の絆を深めたり、子育ての悩みを共有したりすることをねらいとした園児とその保護者を対象とした新規事業です。アウトドアクッキングや子育て座談会等を行いました。

☆【参加者の声】

「みんなで協力して調理をしたり、外で食事をしたりしたことがとても楽しかったです。」

「子育て座談会では、他の家の方と意見交換ができたことが楽しかったです。先生のお話もとてもよかったです。」



<自然・ふれあい! 家族のつどい>

親子を対象に、さまざまな体験活動を通して、親子の触れ合いや他家族との交流を深めることにより、豊かな情操や社会性を育てることをねらいとしています。夏1回、冬2回の年3回行います。8月は野外クッキング、キャンプファイア、花火、壁飾り、フォトオリエンテーリング等を行いました。12月はクリスマスケーキ作り、クリスマスリース作り、クリスマスパーティー等を行いました。

☆【参加者の声】☆

「豚汁がとにかくとても美味しかった。他の家族と協力して作った洋風ご飯もビックリするくらい美味しかったです。」

「魚がたくさん釣れて、子どもは大喜びでした。火のまわりで、みんなでダンスをしたり花火をしたりしてとても楽しかった。」



<小学生>

カヌーの乗り方やこぎかたを教えてくれて、すぐに乗ることができました。おかげでいい自然教室にすることができました。

<小学生>

ふとんのたたみ方や野外炊さんの片付けなど教えてもらいました。両方とも「一発合格」することができうれしかったです。

<小学生>

きもだめしやキャンプファイアが楽しかったです。自然のよさがわかって、とてもよい思い出になりました。

<小学生引率者>

自然の中でたくさん遊ぶことができ、子どもたちにも良い経験となりました。活動も所員の方のおかげでスムーズ行えました。

<子ども会代表>

体育館をのびのびに使わせていただき、子どもたちも喜んでいました。壁飾りも、1～6年生も、お家の人も夢中で作ることができました。

<子ども会代表>

子どもたちに合った内容のオリエンテーリング・工作ができ、施設も新しくきれいで、たいへん楽しく活動できました。

利用者の皆様の声

<令和2年度の「新潟県少年自然の家」利用について>

現在、令和2年度の利用申込受付を随時行っています。お問い合わせ、お申込みを心よりお待ちしております。

なお、利用申込に関する案内や書類につきましては、新潟県少年自然の家ホームページからもダウンロードできます。多くの皆様から御利用いただけることを心からお待ちしています。

<令和元年度 少年自然の家 職員>

所長 名古 善晃
 次長 長谷川 輝
 指導課 佐藤元 大滝健 皆川安寿香 渡邊正則
 川口弘泰 高野大介 神田雄作
 庶務課 笠川 恵 小川 佳文
 渡邊 幸男 坂上 永磨